

第2 ドリーム保育園便り

♪ 市民会館での音楽会 ♪

今年は新型コロナウイルスの感染予防対策として、広い会場【国分市民会館】を準備しました。初めての場所での音楽会がどのように執り行う事ができるか計画を重ねてきました。毎日のリズム遊びを重ねてきた事から、身体の緊張が和らいで様々な歌を聴き、歌うようになってきました。リズムをとり、言葉をリズムに合わせながら自然な発声で歌ったり、ふと生活の中で口ずさんだり、自然や季節を感じた時に、その情景にあった歌を歌うなど、歌が身近にあり親しんでいます。そんな子ども達の素敵な歌声を聴いてもらえたように思いました。予防対策へのご協力ありがとうございました。

未来をつくるうた～【うたが子どもを育て未来をひらく : 著者:丸山亜紀】

子どものうたが生き生きと動き、広がっているとき、子どもは必ずそのうたに向かって豊かな密度の高い集まり方をしている。育っているときは気持ちのいいものだ。そのうたに心を集め、そのうたの中で自立し、のびやかに、すがすがしく生きている詩文の、体の中からリズムがあふれてくるからだ。そのリズムが自然なフレーズをつくり、うたが動いていく。うたが未来を創っていくのだ。



河原で芋煮会



寒さの厳しくなってきた1月より、東北地方で行われている芋煮会を予定してきました。畑で里芋を収穫し、芋洗い棒で里芋の土を洗い落として芋煮会の準備ができた2月4日(木)。新町の河川敷で芋煮会を行いました！河原にガス釜・ガスコンロを準備し、子ども達の目の前で調理を行いました。水に“けずり節”を入れ“だし”を作ると『水が茶色になった～！』と色の変化に気づき、『次は何？』と材料についても興味を持つ子ども達。子ども達の収穫した里芋が入ると『いよいよだ！』と喜びも大きかったです。出来たての芋煮は温すぎて器を持ってない程でしたが、いざ口にするときは“ふーふー”と子ども達自身で、さまざまながら熱々の里芋を頬張っていました。野外で食べた芋煮、子ども達も『美味し～！』とおかわりをたくさんしていました！出来上がるまでは、河川敷で気持ちよく遊ぶ子ども達。川の水に触れたり、河原の砂で山を作ったり、土手を走りまわったり、自然の環境で気持ちよく過ごした時間でした。



今年も元気に！節分の豆まき

2021年、今年の節分は124年ぶりに立春がすれ2月2日に変更になりましたね！
【来たる新年に向け、厄や災難をお祓いする】と言われていた由来の元、
保育園でも豆まきを行いました。
それぞれのクラスで豆まき用にお面を作り臨みました！！



鬼のお面作り～体験からの学び・色作り

そんな、お面作りの時のつぶやき・・・(きりん組)

(子ども)『紫色のお面にしたいけど～』

(保育士)『紫は無いんだ・・・』

(子ども)『じゃ！赤と青で紫になるから！』

と。年長になると、絵の具を使って絵を描く体験が増えます。



春のおとずれ(ぞうぐみ)



保育園の園庭や散歩先でよく目にするようになった梅の花。春の訪れを感じます。

そんな中、第2ドリーム保育園には梅の花と桜が咲き始めました。すると、

『桜の木は上向きに生えているのに、梅の木は下向きに下がって生えているよ！何でかなあ？』と疑問の声、居合わせた学童職員に尋ねてみると、「それは枝垂れ梅という梅の木で枝が垂れ下がっていることを“しだれ”というからしだれ梅」ということを教えてもらいました。

その他にも『梅にはおいがするけど、桜にはおいがしないよ！』『梅の花よりも桜の花の色の方が薄いね！』と、1人のつぶやきから、『ほんとだ！』『いいにおいだね！』とそれぞれの花の違いをみんなで共有して感じ取った子ども達の感性の育ちを感じました。日々の生活の中で、四季を感じ、鳥の鳴き声を聴き、実際に目で見て、触れることで、探求心もくすぐられ新たな発見につながる出来事でした。

霧島市平野でも積雪



2月18日(木)は冬型の気圧配置が強まり霧島市でも雪が積もりました。

明け方から降り積もった雪は2センチほど。子ども達が外に飛び出し雪遊びを楽しみました。

園庭に繰り出し積もった雪を集めて、小さな雪玉で雪合戦が始まり、異年齢で交流しながら楽しんでいました。また小さな雪だるまを作り、「目もつけてあげたらいいかもよ」「このぐらい小さい目がいいかもね」「体にボタンつけてあげよう」とただの雪だるまだけでなく、雪だるまにも命を吹き込むように作る子ども達。なかなか体験できない貴重な雪での遊びを満喫した一日でした！



♪ リズム修了式 ♪

～この一年の子ども達の姿～

ドリーム保育園では、人間形成の土台である身体の育ちを重視し、全身の機能を高める運動・感覚・神経系を育てていく生活を目指しています。その中の生活の一部のリズムあそびは、人が発達していく道筋において十分獲得されていなければならない動きの基本が中心になって構成されています。（生命の誕生から進化の過程と、お母さんのお腹の中から生まれでてからの進化の過程）

子ども達にとってリズムあそびは面白くて楽しいもの！“音を聞きながら動く”二つのことを同時に行うもので、“難しいことを、子ども達はあそびの中で楽しみながらしています。

リズムあそびの動き1つ、指あそび1つにしても指をどう動かそうか…と子どもが考えているときは手を出さずに見守る事が大切、、必死に考えてる時間が子どもの力となる事を、毎日の中で私たちは大切にしています。

大人は、つい手をだしてしまったり、教えてしまったりしがちですが、子どもが考える時間こそ、自分で育とうとしている瞬間だということ。子どもと手をつなぐときも、大人が左手を差し出し、子どもが右手で自分の意志でしっかりと握ることが“脳の言語野を刺激する”ので、子どもの意志の尊重、それに加え子どもの言葉の発達にもつながる事、、、など、日常の生活の中でも子どもの発達を大切に考え保育に取り組んでいます。いよいよ23日（火）はリズム修了式です。この一年の子ども達が大きく発達した素敵な姿が現れる事でしょう。年長さんにとっては1歳児から取り組んできたリズムあそびを披露するのも最後の日です。“年長として”体が育ち、考えて行動する心が育ってできるリズムをたくさん行ってきました。締めくくりとして皆さんでご覧いただきたいです。新型コロナウイルス感染症の予防対策にも、ご協力宜しく願います。



今後の行事予定

今年度も、残り1ヶ月となりました！

今年は、新型コロナウイルスの感染予防対策をとりながら、子ども達の姿を披露する為の行事をとりおこなうことができました。これも、保護者の皆様の日頃からの感染予防対策を取りながらの生活のあり方だと思っています。多くの方が集まる行事でも感染予防対策へのご協力、ありがとうございました。まだまだ、安心する事ができず、園児や職員がいつ感染してもおかしくない状況にもなっています。

今後は、誰でも感染する可能性がある事を前提として、感染症対策を心がけていく事が大切になっていきます。

3月 行事予定

4月 行事

予定

- 3日（水）ひなまつり 行事食
- 9日（火）愛情お弁当の日
- 11日（木）誕生月のお祝い給食
- 12日（金）延長保育はありません
- 13日（土）卒園式※卒園児のみ
- 18日（木）避難消火訓練

- 1日（木）新年度保育スタート
- 16日（金）誕生月のお祝い給食
- 22日（木）愛情お弁当の日
- 26日（月）避難消火訓練